

## 自己評価報告書

平成 23 年 4 月 7 日現在

機関番号：63905

研究種目：新学術領域研究

研究期間：2008～2012

課題番号：20119001

研究課題名（和文）学際的研究による顔認知メカニズムの解明

研究課題名（英文）Multi-disciplinary approach for face perception and recognition.

研究代表者 柿木 隆介 (KAKIGI RYUSUKE)

生理学研究所・統合生理研究系・教授

研究者番号：10145196

研究分野：脳神経科学

科研費の分科・細目：脳神経科学一般

キーワード：脳波、機能的 MRI、顔

## 1. 研究計画の概要

人間の高次脳機能の中でも、「顔認知」は「言語認知」と並んで、他者ならびに社会に適応する上で最も重要なものの1つと考えられる。本研究領域の目的は、基礎医学、臨床医学、心理学、認知化学、工学といった学際的研究者が「顔認知」というキーワードのもとに参集し、顔認知学という新しい学問体系を樹立する事にある。

## 2. 研究の進捗状況

これまでの3年間（実質的には2年半）の間に約200編の論文（英文論文は約110編）を発表し、約300回の学会発表（国際学会は約100回）を行った。また、一般の方々の「顔認知」に対する興味も次第に高くなってきており、本領域の研究成果は、多くの新聞、雑誌やテレビ番組で紹介された。

## 3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

（理由）

本研究領域は6つの班によって成立している。いずれの班も精力的に研究をおこなっている。また、複数の班間の共同研究も盛んに行われている。中間評価では「A」評価を受け、追加予算をいただいた。

## 4. 今後の研究の推進方策

今後、2年間の間に、「顔認知」に関連する研究をまとめた一般向きの本を出版予定である（東大出版会）。また、日本心理学会の英文誌に、顔認知に関する各分野の最先端研究の Review をまとめた特集号を出版予定である。さらに、最終年度には、20名以上の外国人研究者を招聘しての国際シンポジウ

ムの開催を予定している。

## 5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

総括班であるので、論文、学会発表、産業財産権、等に該当するものは無い。

〔その他〕

研究領域ホームページ

<http://www.nips.ac.jp/kaoninchi/>

研究者の所属する研究室のホームページ

<http://www.nips.ac.jp/smf/>